

糖尿病の考え方と医療連携

医師 中石滋雄

糖尿病患者さんの質問に、どう答えますか？



- わたしは、食べすぎて
もいないし、ふとっても
いない。そこそこ運動も
している。これ以上、ど
うしろっていの？



- 全部、わたしが悪いんです。たべたらいけないものを食べて、ちゃんと節制しないのでばちが当たったんです。



- おまんじゅうが大好き
だけど、糖尿病だから
もう何年も食べていな
いんです。

糖尿病の考え方において感じること

- 糖尿病は**生活習慣**と**体質**の両方が原因でおこる病気であり、生活習慣の乱れだけがその原因ではないことがあまり知られていない。
- **健康的な生活習慣を送る** (体重を管理する・運動する)ということと、**血糖をコントロール**することがきちんと区別されていない。
- **その患者さんにとって**何が一番重要なのかあまり意識されていない。

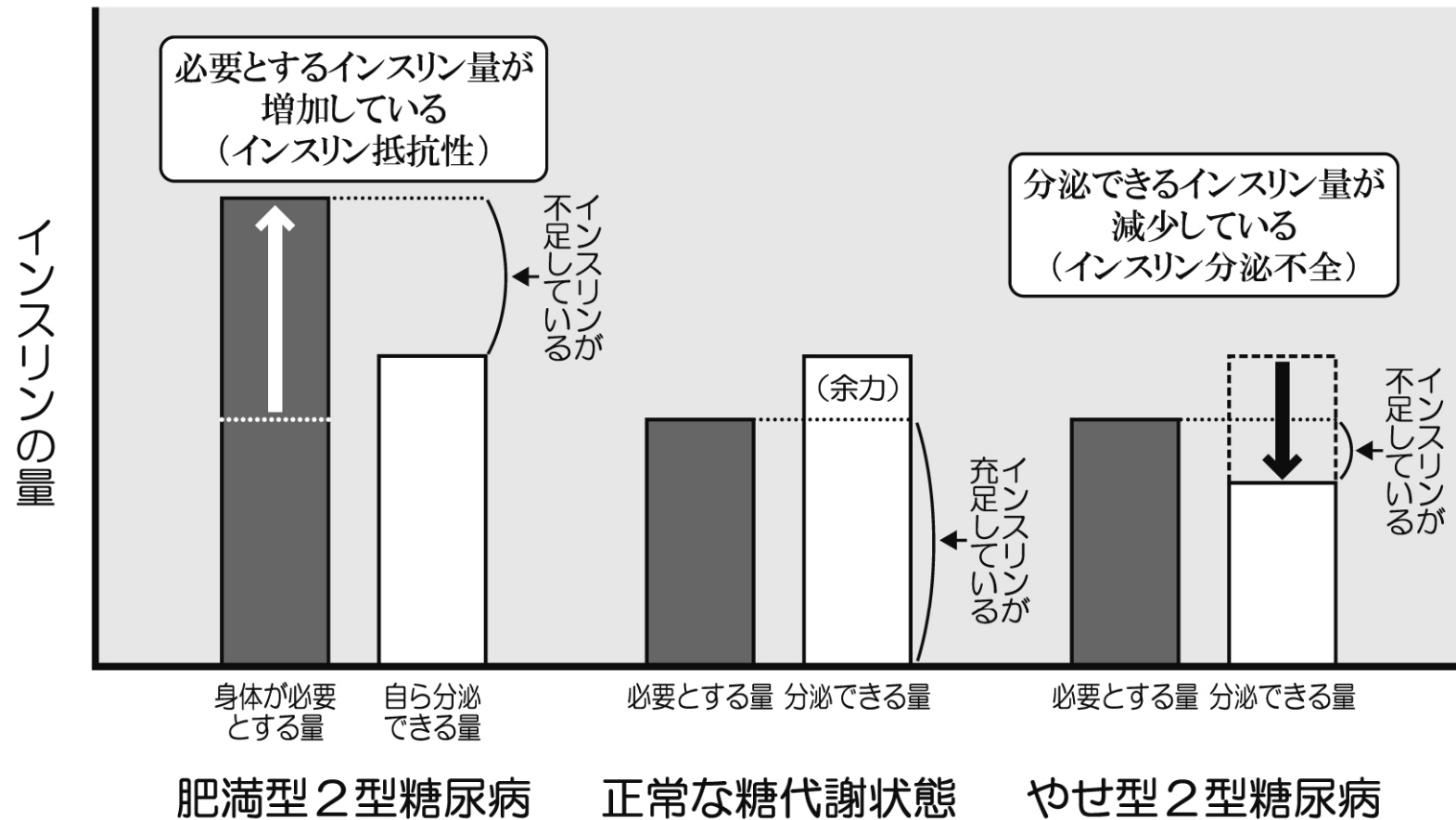
健康づくりと血糖管理

- 健康づくり
 - 適正な体重の維持・運動習慣・食事習慣
- 血糖管理
 - 健康づくりによる血糖の改善・薬剤による血糖の改善

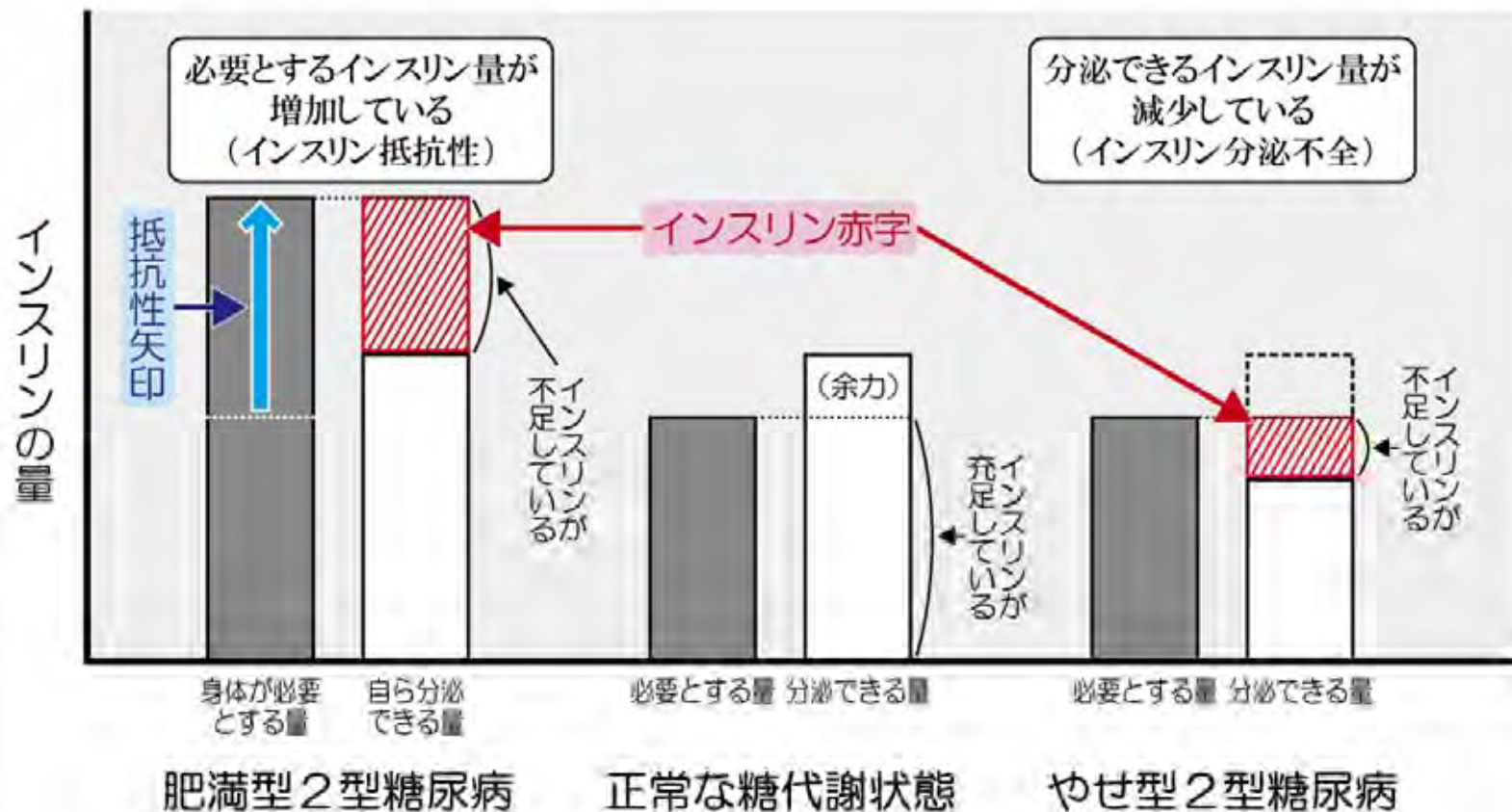
糖尿病患者では、健康づくりは**一石二鳥**

血糖管理の立場から

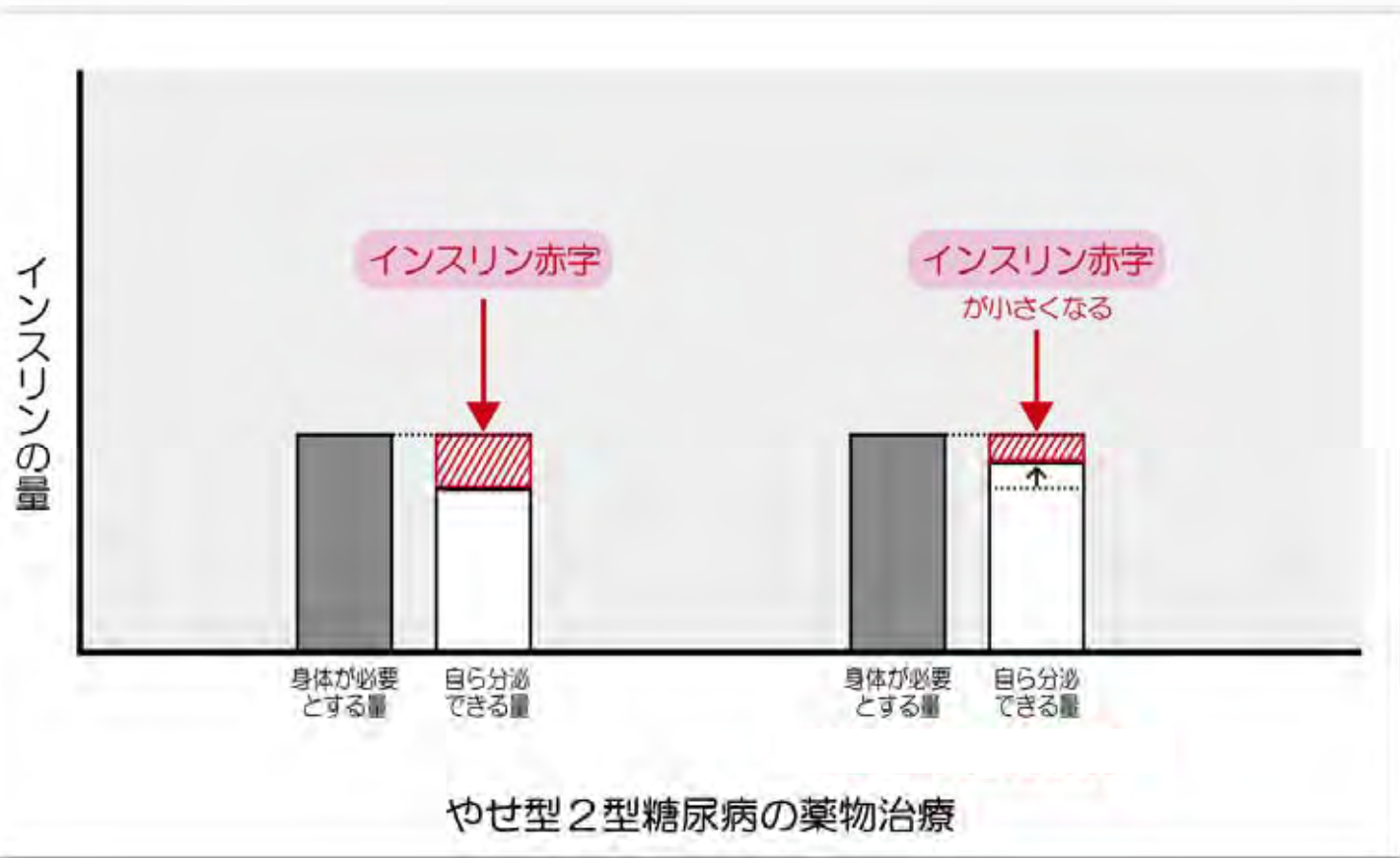
わたしが用いている説明法



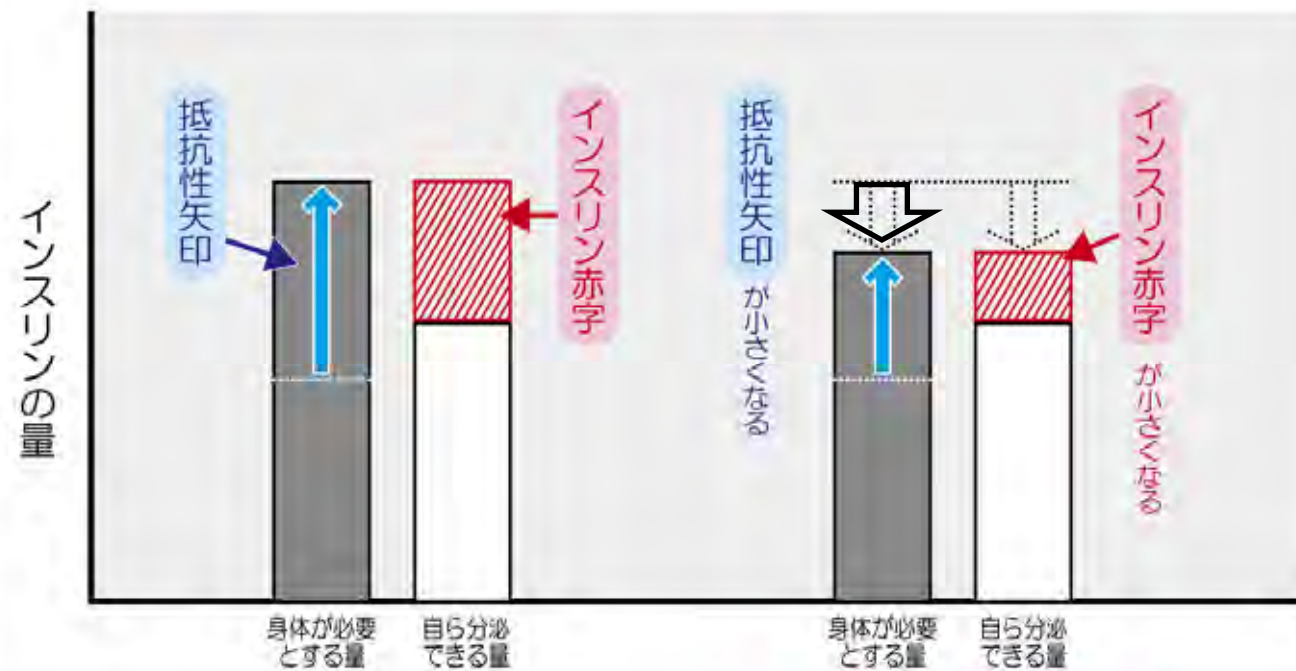
インスリン赤字と抵抗性矢印



インスリン分泌促進剤の効果

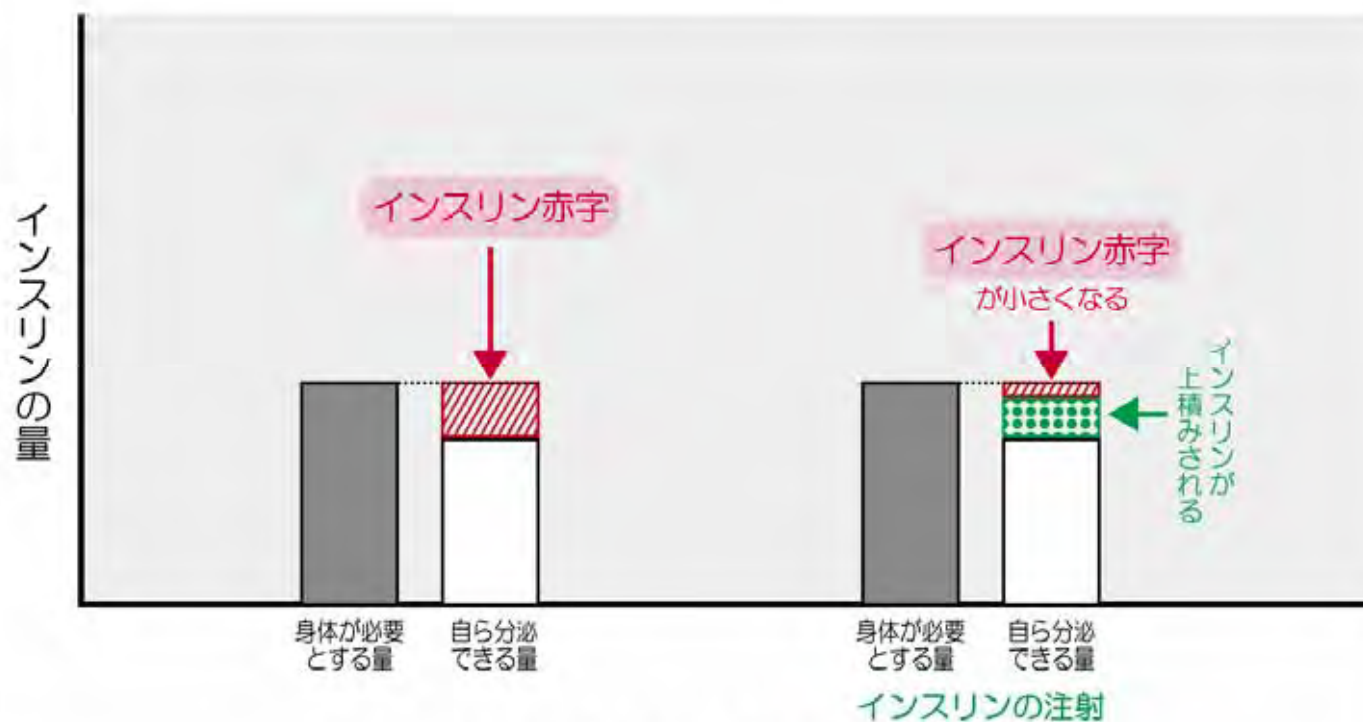


インスリン抵抗性改善剤の効果



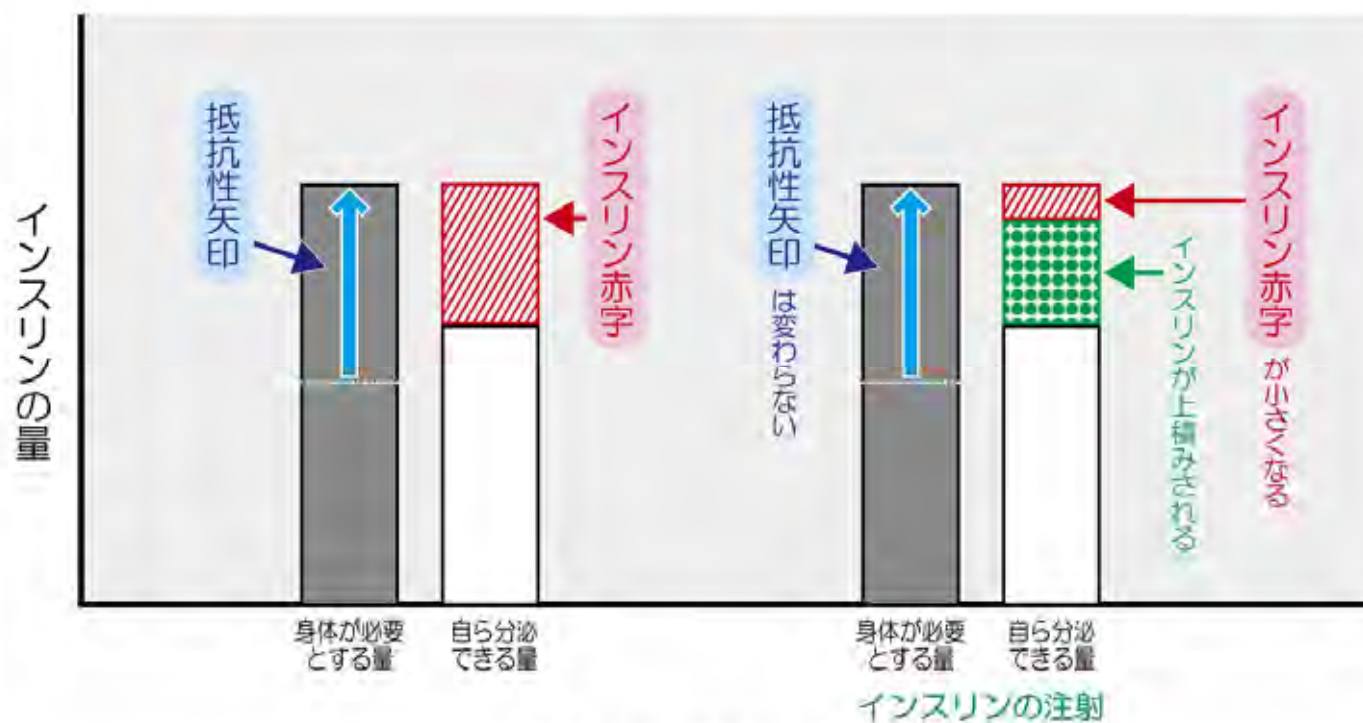
肥満型2型糖尿病の薬物治療

インスリンの効果(やせ型)



やせ型2型糖尿病の薬物治療

インスリンの効果(肥満型)



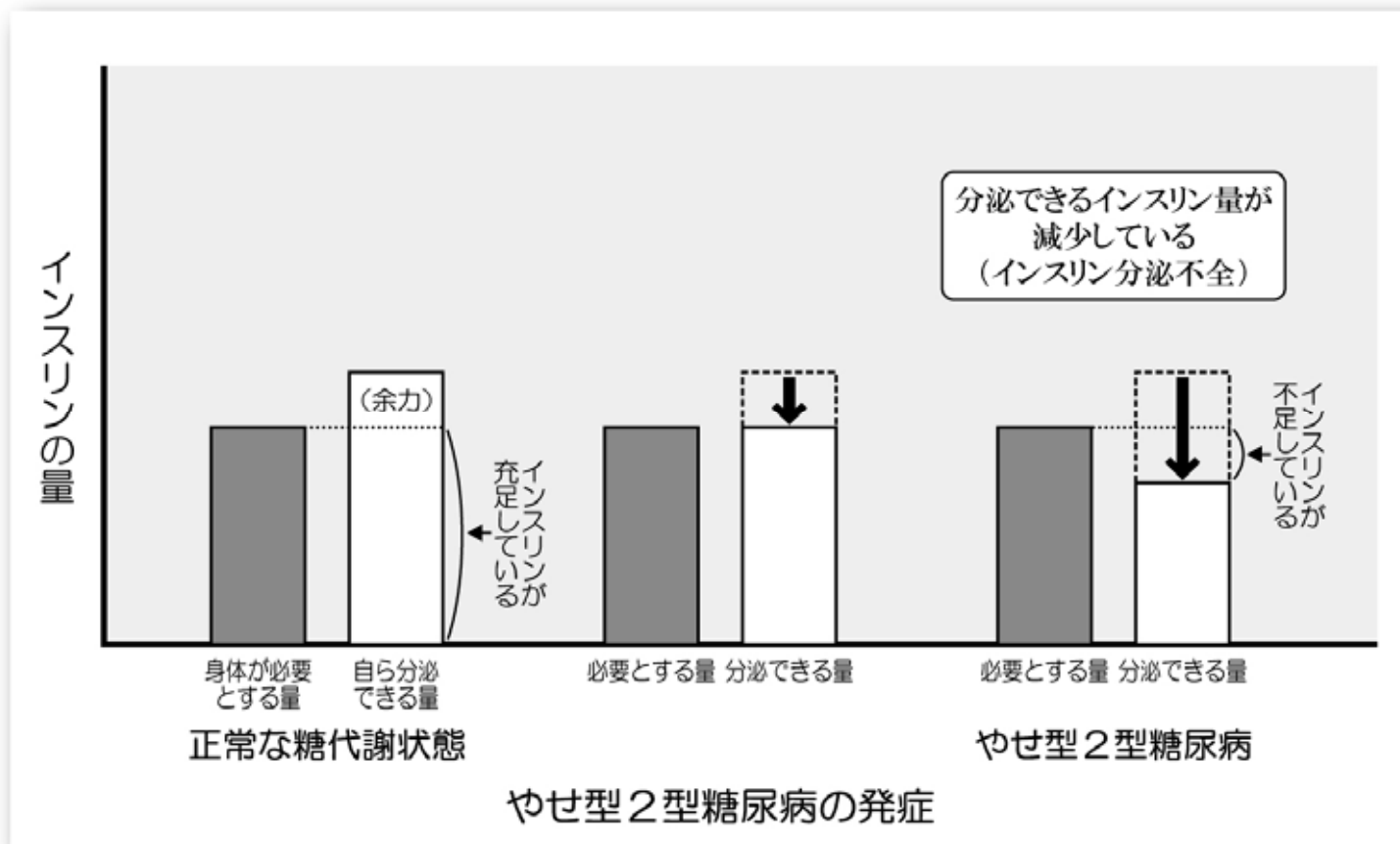
肥満型2型糖尿病の薬物治療

糖尿病薬物療法

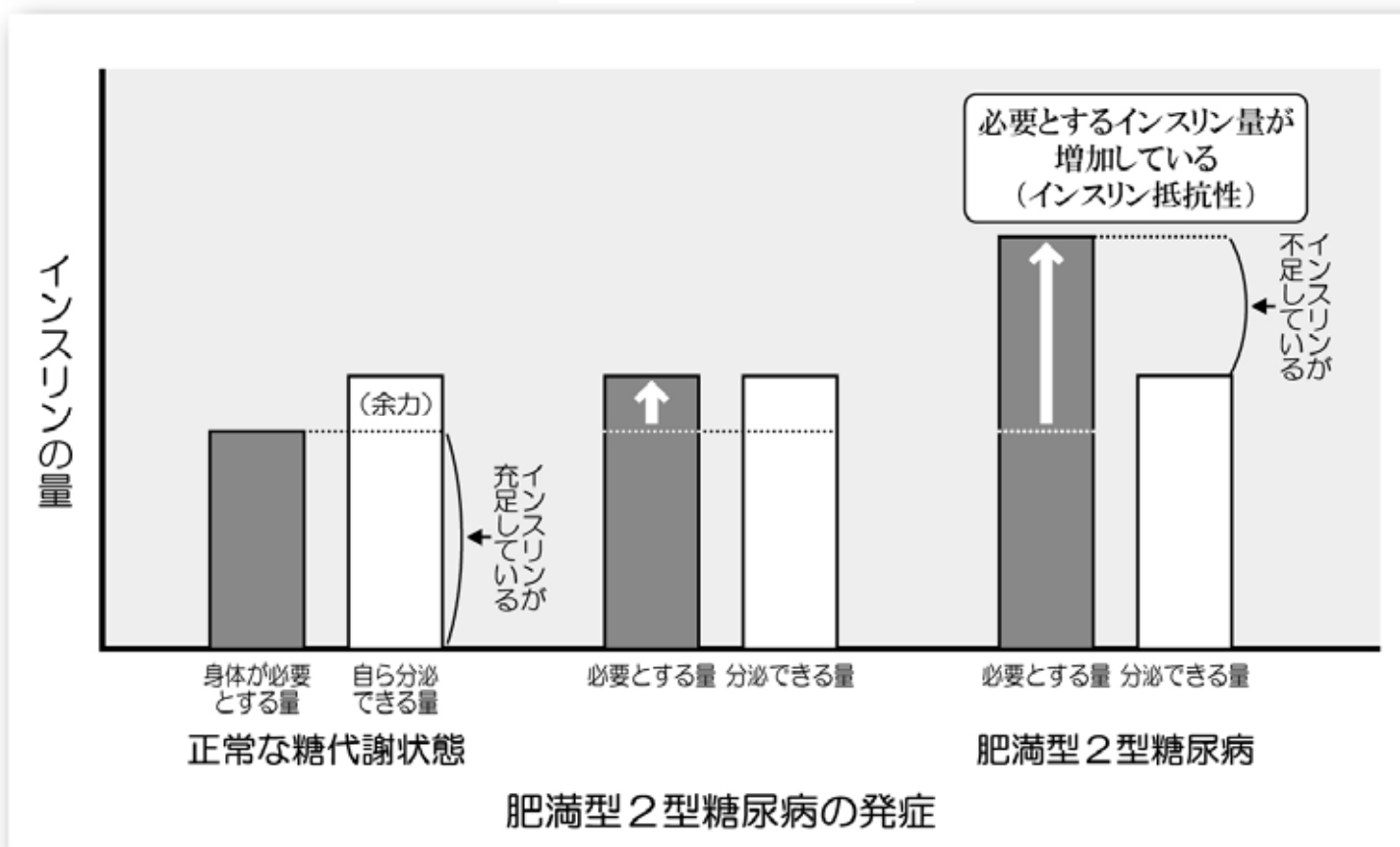
- 高血糖とはインスリンが不足していること。
 - インスリンを補う治療: よわい**体質**を助ける。
 - 自分のインスリンを有効に用いる治療: 負担になる**生活習慣**を助ける。

糖尿病はどのように発症するか

やせ型2型糖尿病の発症経過



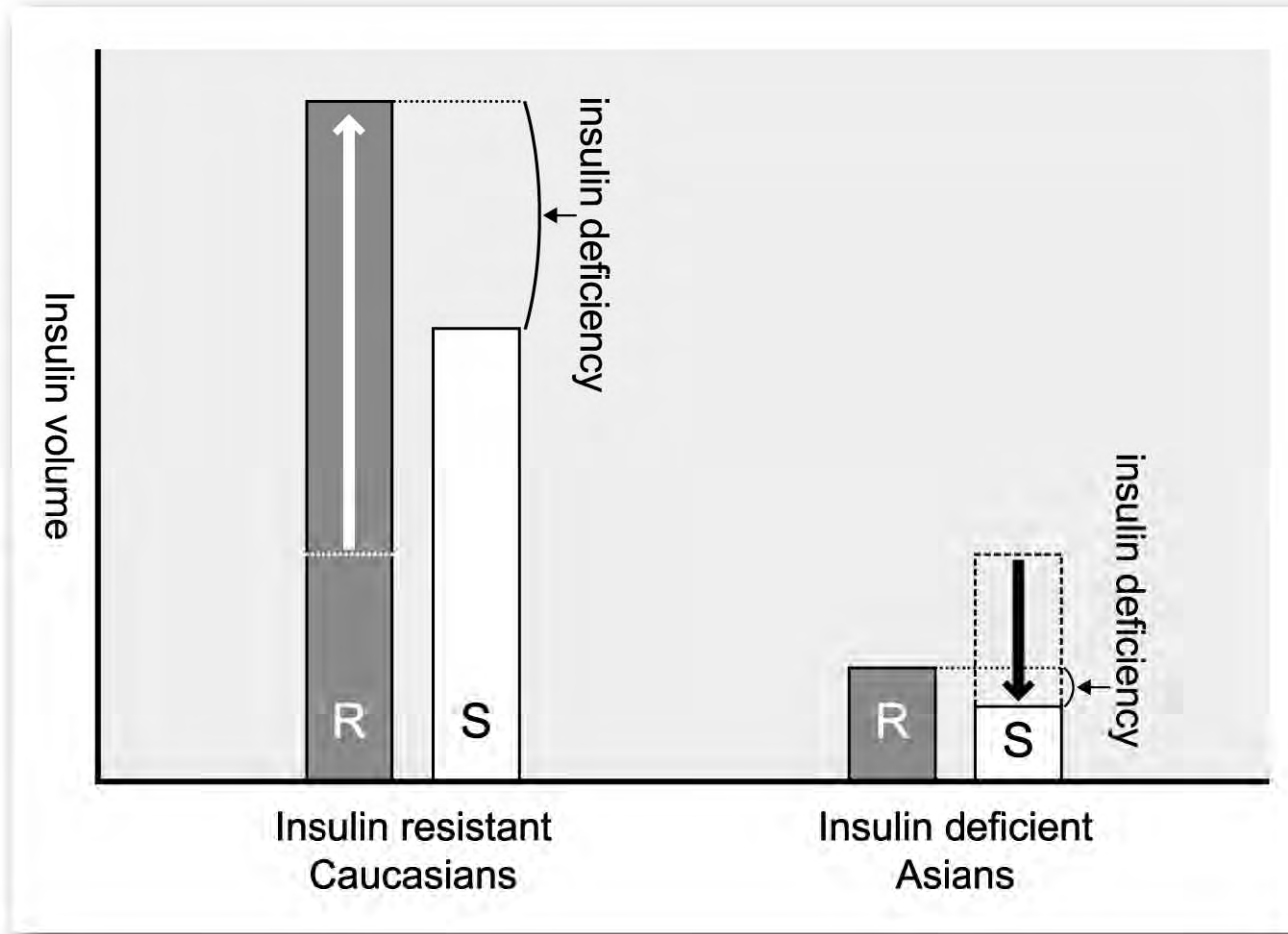
肥満型(メタボリックシンドローム型) 2 型糖尿病の発症経過



私の糖尿病の理解 1

- 糖尿病は体質と生活習慣があいまっておこる。特に、インスリンを出す力が弱いといわれている日本人では欧米人にくらべても体質の影響が大きい。

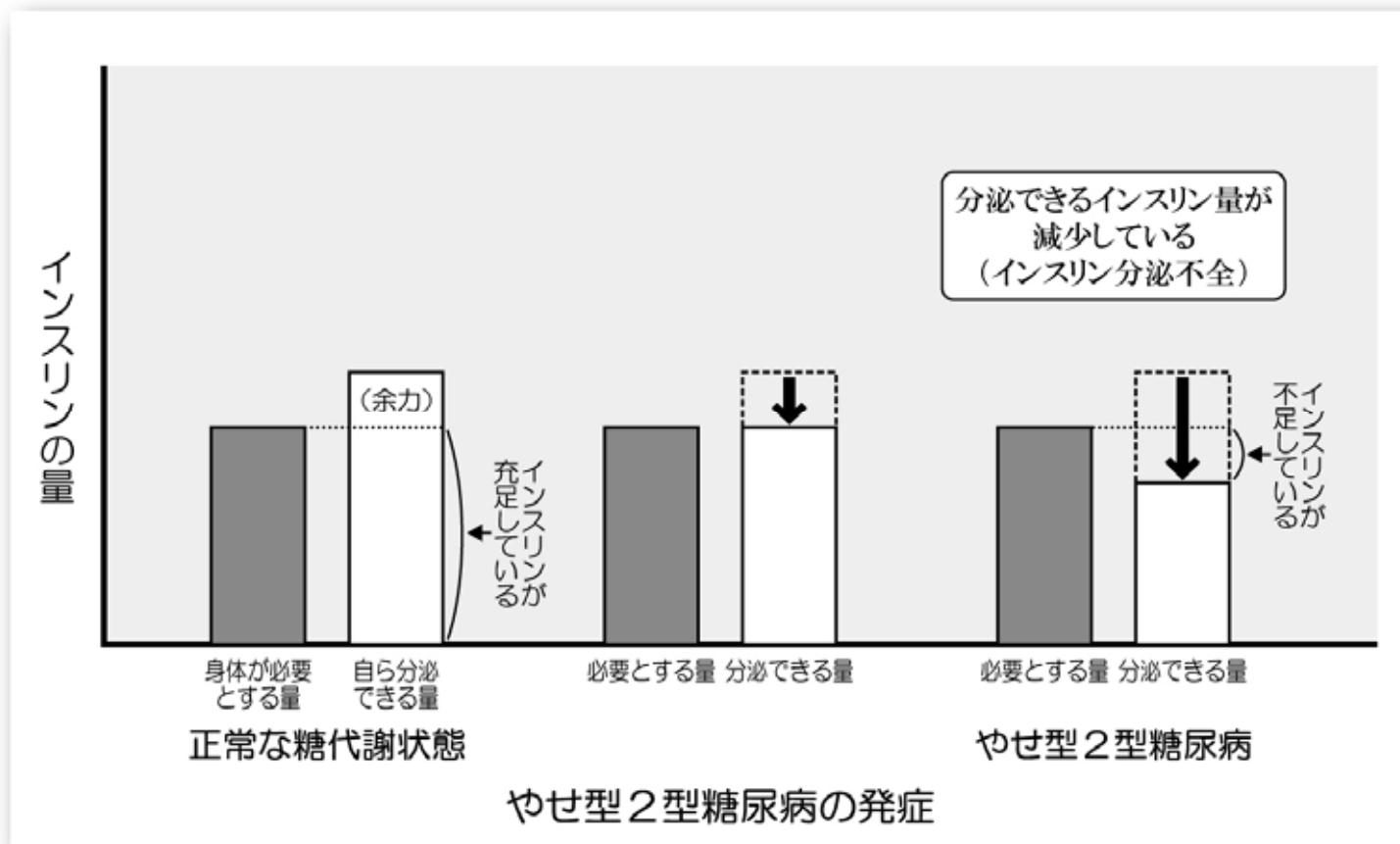
欧米人の糖尿病とアジア人の糖尿病



私の糖尿病の理解 2

- インスリンを出す力は年齢とともに低下する。高齡化にともない糖尿病が増加することはある意味では当然である。

加齢による糖尿病の発症経過



糖尿病患者さんの質問に、どう答えますか？

- わたしは、食べすぎてもいけないし、ふとってもしない。そこそこ運動もしている。これ以上、どうしろっていの？

－ 体質の影響が大きいかもしれませんね。人間にとって、十分な栄養をとることがいちばん大切なことですから、そのために必要ならお薬を始めたり、増やしてみることも必要かもしれませんね。

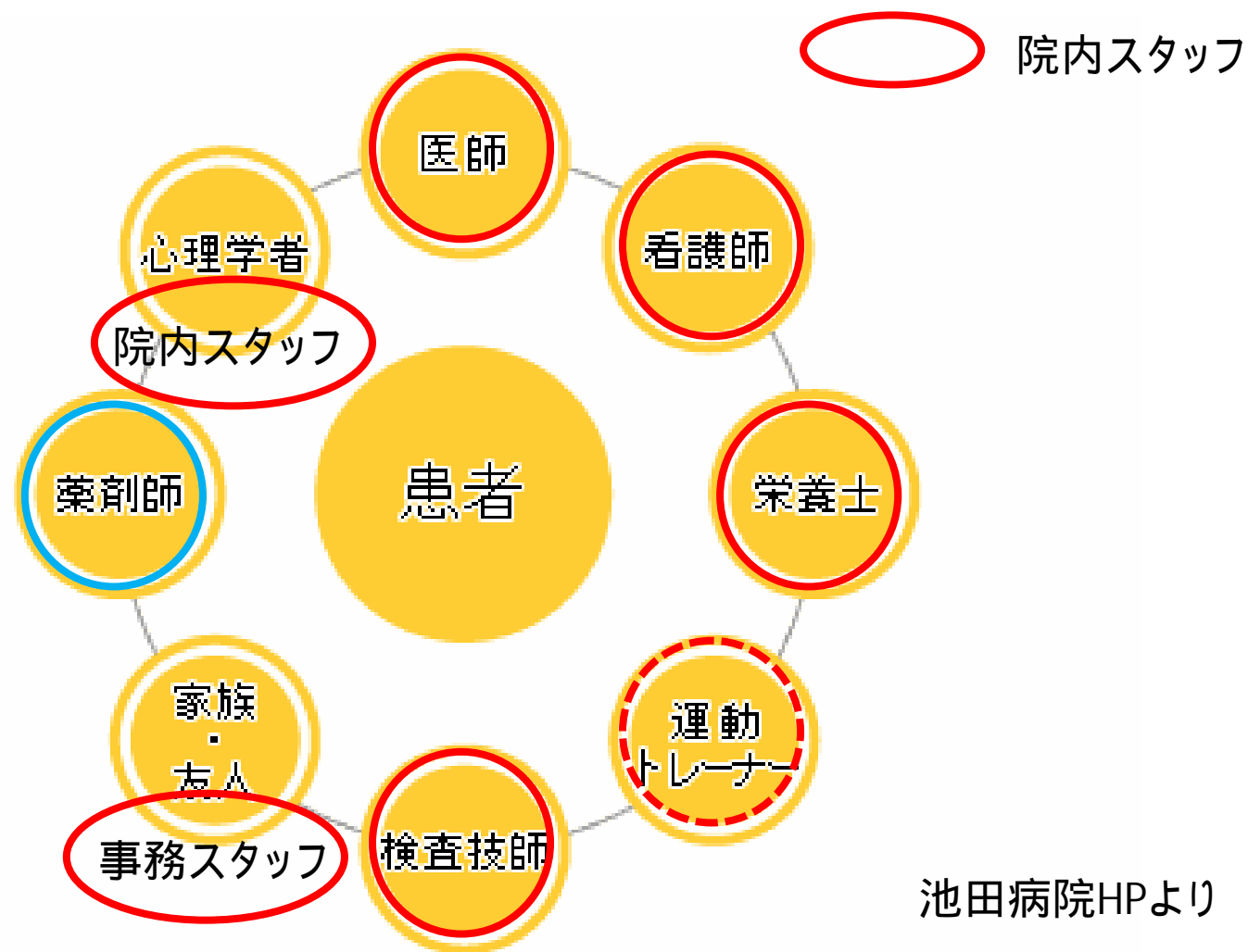
糖尿病患者さんの質問に、どう答えますか？

- 全部、わたしが悪いんです。たべたらいけないものを食べて、ちゃんと節制しないのだからがあたったんです。
 - たべたらいけないものなんてありませんし、ばちがあたったなんてことは絶対にありません。
 - ただ、生活のどこを重点的に工夫するのがいいのかはよく知っておくほうがいいですよ。

糖尿病患者さんの質問に、どう答えますか？

- おまんじゅうが大好きだけど、糖尿病だからもう何年も食べていないんです。
 - － おまんじゅう1個で糖尿病が悪くなることなんてありません。
 - － おまんじゅうが自分にとって大切なものであれば、おまんじゅうを含めた食事の仕方を計画してみましょ。

糖尿病のチーム医療と院外処方



池田病院HPより

院外調剤における薬剤士のチーム医療への参加への課題

- 患者情報をどのように共有すればよいのか？
 - 現状では全く答えがありません。
- 処方箋という限られた文書で、有効な情報提供を行うにはどのようにすればよいのか？
 - 若干の工夫をこころみていますが、役にたっているでしょうか？むしろ迷惑？

処方箋への非処方薬の記載

加 入 せ ん 1/1 ページ

(の保険薬局でも有効です)

保険薬局の名称
所在地及び名称 中石医院

電話番号 (06)6191-7117

保険医氏名 中石滋雄

処方せんの手続 年 ()に記載のある年月を以て
使用期間 交付の日を以て4週間(1ヶ月)に保険薬局に提出する

1 セルベックスカプセル50mg	3Cap	1日3回食後 (今回不要)	日分
2 ガスター錠20mg	1錠	1日1回食後 (今回不要)	日分
3 プロルモン EPLカプセル 250mg	3錠 3Cap	1日3回食後 (今回不要)	日分
4 マイスリー錠10mg	1錠	1日1回眠前	20日分
5 ノボリン300錠フレックス ペン 300単位	1キッ		
6 ノボラビッド注300フレク スペン 300単位	1キッ		
7 レベミル注300フレックス ペン 300単位	1キッ		
8 320F-ペンニードル	20本		

以下 空白

保険医署名 (印)

調剤年月日 平成 年 月 日

公費負担番号

公費負担医療
の受給者番号

保険薬局の
所在地
及び名称
保険薬局研
氏 名 (印)

今回不要という
記載について

再開・増量・減量などの記載について

処方せん 1/1 ページ

(の保険薬局でも有効です)

1	2	
0		

保険
所在地及び名称 中石医院

電話番号 (06)6191-7117

保険医氏名 中石滋雄 印

処方せんの日 平成 年 月 日 (特に記載のある場合を除き、
使用期限 交付の日を起し4日以内に保険薬局に提出すること)

処方	1 オイグルン錠 20mg ベイスン錠 2mg	3錠 3錠	1日3回毎食直前	30日分
地	2 メルビン錠 250mg アキネト錠 1mg	2錠 1錠	1日2回朝夕食後	30日分
	3 アクトス錠 15mg (再開) タナトリン錠 5mg アムロジウム錠 5mg ナラージン錠 50mg メパロチン錠 10mg ラシックス20mg錠	1錠 1錠 1錠 1錠 1錠 1錠	1日1回朝食後	30日分
方	4 ネオマレルミンTR錠 6mg	1錠	1日1回眠前	30日分
	以下 余白			

2015

備考 高7

保険医署名 (公費負担者署名) 印

調剤年月日 平成 年 月 日	公費負担者番号
保険薬局の 所在地 及び名称 保険薬剤師 氏名	公費負担医療 の受給者番号

再開という表示について

天王寺区内の糖尿病クリニック



大阪の糖尿病クリニックの連携

■ 大阪糖尿病専門医クリニックネットワーク ■

■ 当ホームページのご説明 ■

大阪府内ならびに阪神間6市(尼崎・西宮・芦屋・伊丹・川西・宝塚)に存在する無床診療所で、糖尿病専門医の勤務するものを日本糖尿病学会ホームページの医療機関検索サイトで検索し、当該医療機関の了解をえて地図上にプロットしました。

■ 当ホームページの使い方 ■

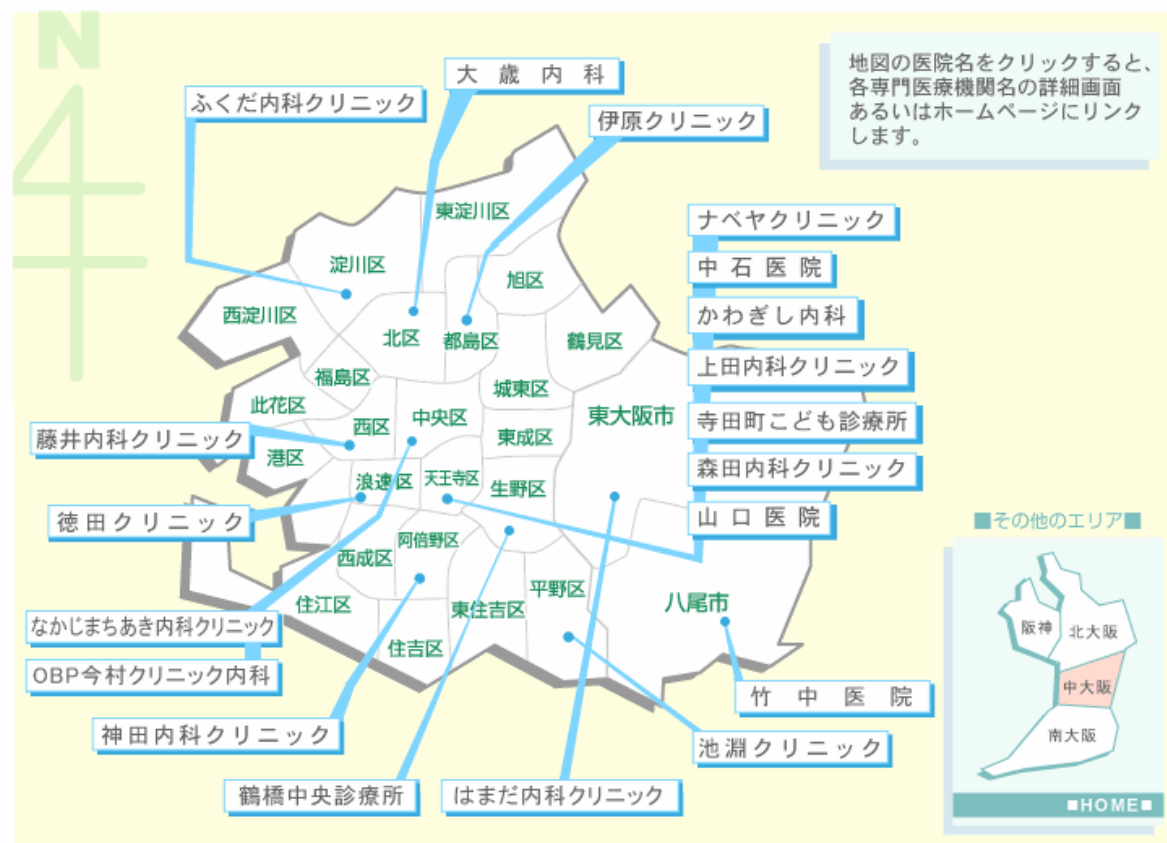
目的のプロットをクリックすると、医療機関名を明示した拡大地図に移動します。医療機関名をクリックするとその医療機関の詳細画面(一部、ホームページ)に移動します。当該医療機関のホームページに大阪糖尿病専門医クリニックネットワークへのリンクボタンがありますので、専門医療機関と当ホームページを行き来しながら最適の専門医療機関を検索することができます。



■ TOPICS ■

スタッフ募集 (目指している方も可)

糖尿病療養指導士・臨床検査技師・看護師・
管理栄養士 を募集している医療機関



糖尿病療養指
導士募集につ
いて

特許・
実用新案

BMI電子
ノモグラム

HOMA
electronic
nomogram
(e-nomogram)

糖尿病 甲状腺疾患 高脂血症 ホルモン異常症

中石医院

完全予約制 院長 中石 滋雄

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6丁目2-25 2階2階
TEL 06(6191)7117

▶▶ 学会・論文

▶▶ 講演スライド

▶▶ 職員研修

▶▶ 公的活動

▶▶ HOMA-Rノモグラムのダウンロード

▶▶ 糖尿病の病態解説スライド

診療案内

院長紹介

スタッフ紹介

指 導

検 査

診療費用
のめやす

本日のスライド
を、近日中にここ
にアップロードしま
すのでご覧ください。

上本町・谷町9丁目付近
の医療機関の検索法

医療機関の検索法
(糖 尿 病)

医療機関の検索法
(甲 状 腺)

医療機関の検索法
(高脂血症)

医療機関の検索法
(ホルモン異常症)

河村クリニック
(泌尿器科
人工透析)

内科 玉田医院
内藤クリニック
(循環器科)
4F ナカガワ歯科
2F たかはし乳腺消化器
クリニック
1F 大手眼科

谷町九丁目駅

地下鉄千日前線

近鉄上本町駅

近鉄奈良線

ハイハイ
タウン

近鉄百貨店

都ホテル
大阪

近鉄大阪線

患者さまのご連絡

- 電子メールでご連絡ください。
- メールのタイトルに関しては患者病用とおかきいただき、患者氏名は記載しないでください。
- 個人情報の保護に関しては、経験をつみながら考えていきたいと思えます。

さいごに

- 糖尿病患者の激増に伴い、その対応には知識の普及と医療連携がもっとも大切です。
- ただ、調剤薬局と診療所(病院)との連携はまだほとんどなされていません。
- 患者の立場にたってどのようなことが必要なのか、これから一緒に考えさせていただきたいと思っています。

本日は、お休みのところ、ご出席
いただきありがとうございました。

中石滋雄